

蕨 9

広報WARABI

2012/平成24年
わらび・734

- 平成24年9月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 8月1日現在人口：72,292人 前月比 -270人
男 36,738人 女 35,554人
世帯数：35,407
人口密度：14,174人/km²



祝白寿！岡さんの元気な笑顔 その秘訣は家族との触れ合い

「健康で毎日が幸せです」と話すのは、来月99歳になる塚越6丁目の岡米さん(写真中央)。岡さんの元気の源は、家族4世代でのだんらんの時間です。なかでも、1歳のひ孫、晴香ちゃん(写真右)は特別な存在。手を取り、触れ合うことが「最高のお薬」と、目を細めながら教えてくれました。

——— 目 次 ———

- 高齢者特集……………2
- 国境を越えた友情……………6
- レポートそこが知りたい…8
- このまちに暮らして……………9
- 親と子のニュースの小窓…10
- 子どもクラブ……………11
- 輝いてます ひと……………12
- 中仙道蕨宿400周年……………12

高齢者特集①

今月は、高齢者の皆さんにいつまでも生きがいを持って生活してもらおうと実施されている事業をご紹介します。

誰もがいきいきと暮らせるまちへ

ぶらっとわらび

75歳以上の乗車が無料に



市内をくまなく巡回するぶらっとわらび。車内には、楽しい会話と笑顔があふれています

平 成14年3月の運行開始以来、市民の皆さんに愛され続けているコミュニティバス「ぶらっとわらび」。年間乗客数は16万5000人以上のほり、高齢者の皆さんを中心に、身近な交通手段として利用されています。

そこで市では、高齢者の移動や外出などを支援し、より健康で充実した生活が送れるまちづくりを進めようと、75歳以上の市民を対象に、ぶらっとわらびの無料化を実施します。17日の敬老の日より、乗車の際に、市が交付する写真付きの無料パスを提示すれば、運賃は無料です。まだ無料パスをお持ちでない人は、市役所で申請すると、原則、即日交付されます（下囲み参照）。

もうすぐ、外出するのが気持ちいい季節がやってきます。家族や友達といっしょに、ぶらっとわらびに乗って出かけてみてはいかがでしょうか。

無料化で蕨がより身近に

蕨駅や公民館に行く場合などに、ぶらっとわらびを利用しています。先日、75歳以上は乗車運賃が無料になると知って、すぐに夫と市内巡りをする約束をしました。これからは、気軽に行動範囲を広げられるので、楽しみです。



よしだ れいこ
吉田 怜子さん
南町3丁目・78歳



問い合わせ
安全安心推進課 (☎433-7755)

無料バス申請・交付/持ち物
●身分証明書(後期高齢者医療被保険者証など年齢確認できる物)、証明写真(縦3センチ×横2.4センチ)2枚
●申請日平日の午前8時半〜午後5時15分に市役所2階安全安心推進課

生きがいづくりの場

高齢者クラブにご参加を

スポーツをして体を動かしたい。文化活動を通じて教養を深めたい。このような思いを持った高齢者が集う地域活動の場。それが高齢者クラブです。

蕨市高齢者クラブ連合会（以下市高連）は、昭和37年、「健康・仲間・生きがいづくり」を目的に発足。今年で50周年を迎えました。現在、市内の高齢者クラブは28あり（左下囲み参照）、合計1800人



クラブ間交流を楽しむ塚越和楽会の皆さん



市立病院へ寄附するおむつを作成（七福会）



交通安全講話に聞き入るみずほ会の皆さん

以上が加入しています。

活動は、クラブごとに自発的に実施。グラウンドゴルフやゲートボールを中心とした健康増進活動から、民謡・舞踊などの文化活動、高齢者施設の慰問や防犯パトロールといったボランティア活動まで、多岐にわたっています。

このような活動を発表する場として、毎年開かれているのが、市高連主催の「作品展示会」と「芸能大会」です。

今年、作品展示会が今月13日から17日まで中央公民館で、芸能大会が12月8日に市民会館で開催され、市民の皆さんに活動の成果を披露します。

おむね60歳以上なら誰でも入会できる高齢者クラブでは、さまざまな価値観を持った人と出会えるのも魅力です。生きがいや健康づくりだけでなく、生涯の仲間もつくれる高齢者クラブで、新たな人生の活力を見つけてみませんか。

～高齢者クラブ一覧～

地区	クラブ名	地区	クラブ名
錦町	水深長寿会	中央	七福会
	寿会	南町	さわらび会
	和楽美会		三楽会
北町	北五寿会		みずほ会
	久留美会	清和会	
	親和会	つくも会	
	しろはと会	塚越	三寿会
北一あしたの会	百仙会		
中央	郷賛会		塚越緑寿会
	松寿クラブ		二葉会
	美園会		末広会
	福寿会		七和会
	弥生会		塚越和楽会
	土橋長生会	六実会	

問い合わせ = 介護保険室 (☎433・7756)

蕨市高齢者クラブ
連合会・会長

やすなみ たけし
安波 猛さん
北町3丁目・76歳



高齢者の居場所として50年
更なる会の飛躍を目指して

市高連は、今年で50周年です。12月の芸能大会は、「創立50周年記念芸能大会」と銘を打ち、盛大に開催します。

高齢者クラブのいちばんの魅力は、趣味などの活動を通じて、仲間を増やせることです。今後は、クラブ単位はもちろん、市全体での交流をより深められる環境づくりを進めたいです。会員の皆さんに楽しんでもらうためにも、まずは自分が積極的に楽しみたいと思っています。

高齢者特集②

ご利用ください 福祉事業・制度

市では、高齢者の皆さんの健康で明るい生活を支援するための各種事業を実施しています。そこで、ここ4、5分では、福祉事業や制度などについてご紹介します。ぜひご利用ください。

問い合わせ
介護保険室 (☎433・7756)



カメラの前で笑顔でポーズ。松原会館趣味講座「ヨガ」の皆さん

給付・助成・融資など

●敬老祝金／9月1日現在で、歳市に引き続き1年以上住んでいる左表の年齢の人に、お祝い金をお贈りします。

満年齢	金額
75歳	20,000円
77歳	20,000円
80歳	20,000円
85歳	20,000円
88歳	25,000円
90歳	30,000円
95歳	30,000円
99歳以上	50,000円

●福祉入浴サービス／65歳以上で自宅にお風呂のない人か、70歳以上で市民税非課税世帯の人、世帯の人に毎月4回分（7月と8月は6回分）の公衆浴場の入浴券（100円の自己負担あり）を差し上げます。

●福祉理美容サービス／70歳以上で市民税非課税世帯の人に年5回分、理美容の割引券を差し上げます。

●徘徊高齢者等家族支援サービス／徘徊行動のある高齢者が専用端末機を携帯することで、家族が本人の居場所を確認できるサービスの費用の一部を助成します。

●介護サービス利用料軽減助成／居宅及び地域密着型の介護（予防）サービスをご利用

用の市民税非課税世帯の人に、負担の一部を助成します。

●家族介護慰労金／介護保険の要介護が4か5で、介護サービスを1年以上利用していない人を、在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に、年額10万円を支給します。

●在宅要介護高齢者手当／在宅で要介護度が重い低所得の高齢者に、月額5000円を支給します。対象は介護保険被保険者で、市内に住所があり、次の要件を全て満たす人 ①65歳以上 ②施設に入所していない ③介護保険の要介護度が4または5 ④介護保険の保険料段階が第3段階以下（世帯全員が住民税非課税） ⑤生活保護を受けていない ⑥在宅重度障害者手当を受給していない人

●老人居室整備資金／60歳以上の人と同居しているか、これから同居しようとする人が、高齢者専用の居室を備えた住宅を建築する際の必要な資金融資を斡旋し、利子を全額助成します。

●民間賃貸住宅入居保証料助成／70歳以上の独り暮らしか、配偶者の一方が70歳以上の夫婦世帯で、市民税非課税

お出かけください

●お年寄りを敬う会



昨年のお年寄りを敬う会（9月17日・市民会館）

とき 15日（土）午前の部（午前9時半～11時半）／錦町・南町・中央1、2、6、7丁目地区 午後の部（午後2時半～4時半）／塚越・北町・中央3、4、5丁目地区 ところ 市民会館 対象 77歳以上の人（昭和10年9月30日以前に生まれた人）内容 式典（長寿者表彰、お祝いの言葉など）、市内小学生による敬老作文の朗読、歌謡ショー、児童演技など 問い合わせ 介護保険室 (☎433・7756)

世帯の人が、市内の民間賃貸住宅を借りるときに保証人を確保できず、保証会社の家賃等債務保証制度を利用した場合に、初回保証料の2分の1(3万円まで)を助成します。

●**民間賃貸住宅家賃助成**／70歳以上の独り暮らしか、配偶者の一方が70歳以上の夫婦世帯で、市民税非課税世帯の人が民間の賃貸住宅に住み、①月額1万円以上3万円未満の家賃を支払っている場合は、月額6000円 ②月額3万円以上6万円以下の家賃を支払っている場合は、月額1万円を助成します。

●**介護予防のための住宅改修費を助成**／手すりの取り付けや段差解消、床材の変更、扉や便器の取り替えなどの改修。対象は次の①～③全てに該当する人 ①65歳以上の在宅高齢者 ②介護保険制度で要介護・要支援に該当しない人 ③世帯全員が市民税非課税 助成額は改修費用の3分の2以内で上限は10万円

●**社会福祉法人等利用者負担軽減助成**／介護サービスを利用中の市民税非課税世帯で生計が困難な人(条件あり)に負担の一部を軽減します。

在宅でのサービス

●**寝具乾燥サービス**／65歳以上の市民税非課税世帯の人で、寝具類の乾燥や消毒をすることが困難な独り暮らしの高齢者、または高齢者世帯に、毎月1回(11月～3月は月2回)、寝具乾燥車を派遣します。寝具の洗濯は年1回です。

●**配食サービス**／65歳以上の独り暮らしや夫婦世帯などで、食事の用意をするのが難しい場合、1食400円で、温かい夕食をお届けします。

●**訪問理美容サービス**／介護保険の要介護4か5の寝たきりの人に、自宅で利用できる割引券を差し上げます。

生活用具の給付・貸与

●**日常生活用具購入費の補助**／日常生活で火災警報器、電磁調理器、自動消火器が必要と認められる65歳以上の人に、購入費の一部または全額を補助します。所得税非課税の人は自己負担なし。

●**歩行補助つえがもらえます**／歩行に常時、つえが必要な65歳以上の人

●**紙おむつがもらえます**／65歳以上の人で、常時、おむ

つを必要と医師が認める人、または寝たきりで常時、おむつが必要な人

●**福祉連絡システム**／65歳以上で体が弱く、独り暮らしの人の自宅に、受信センターと直結した専用機器を設置し、緊急通報によるホームヘルパーの派遣や救急車の要請などのサービスが受けられます。

充実した毎日を

●**老人憩いの家みつわ苑**／交流プラザさくら内の「みつわ苑」(南町2丁目)は、60歳以上の人が利用できます。▼**囲碁将棋サロン**／月～土曜日の午後1時～4時半 ※初心者、女性大歓迎 ▼**喫茶ひだまり**／第3水曜日(今月は19日)午後1時半～3時 おしゃべりや読書など自由な時間を過ごしませんか。▼**スカイウエールコーナー**／交流高圧電位治療器が利用できます。午前9時～11時40分、午後1時～4時40分 ※その他、各種催しも開催。問い合わせは交流プラザさくら(☎432・7271)

●**老人福祉センター**／①松原会館(錦町3丁目)と②けやき荘(塚越5丁目)があります。対象は市内在住の60歳

以上の人 健康体操や俳句などの講座で教養を広げながら、友達づくりもできます。今月の休館日①日曜日、18日 問い合わせ①同館(☎443・6542)、②介護保険室(☎433・7756)

●**公益社団法人蔵市シルバ**／人材センター／原則60歳以上の健康で働く意欲と体力のある人 登録制。詳細は同センター(☎433・0962)

介護予防・健康

●**地域包括支援センター**／高齢者の皆さんが要介護状態にならないように、介護予防をはじめ、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などが中心となり、介護・福祉・医療・権利擁護などの支援を行います。内容は総合相談・支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメントなど ▼**蔵びんしゃん教室**／転倒による骨折や寝たきりを防ぐ運動を行う教室。10月17日～11月14日 毎週水曜日 午前9時半～けやき荘 要介護認定を受けていない65歳以上の市民 25人(先着順)申し込み・問い合わせ③3日～28日に同センター(☎434・6721)

●**趣味の高齢者作品展**／とき③13日～17日の正午まで 中央公民館 内容③60歳以上の皆さんが作成した書道や絵画、写真などを多数展示します。問い合わせは介護保険室(☎433・7756)

マッサージプレゼント

とき③3日(月) 午前10時(午前9時から整理券を配布します) 内容③蔵市視覚障害者協会のマッサージ師の皆さんがマッサージを実施 対象③60歳以上の人 先着20人 無料 ところ・問い合わせ③松原会館(☎443・6542)

心配ごと相談

とき③4日(火) 午後1時～3時 ところ・問い合わせ③松原会館(☎443・6542)

塚越プラチナ学園

仲間をつくって楽しく学ぶ場です。とき③原則第3月曜日 午後1時半～3時 老人福祉センターけやき荘 対象③65歳以上の人 参加費③年間1500円 申し込み③東公民館にある申込書に参加費を添えて同館(☎442・4052)

1日目 ~the first day~

開会式・武尊牧場・ホテル観賞



▲標高1,500mの武尊牧場でアイスブレイク

▶暗闇のなか、息を潜めてのホタル観賞



2日目 ~the second day~

尾瀬散策・文化交流



▲ペンションで過ごす夜はカードゲームで大盛り上がり



▲上手に出来たでしょう!!

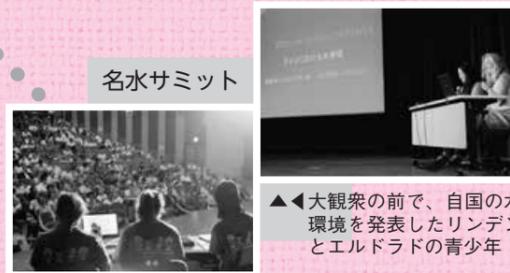


3日目 ~the third day~

名水サミット・ネイチャークラフト体験・キャンプファイヤー



▲自然素材を使ってオブジェを制作



名水サミット

▲大観衆の前で、自国の水環境を発表したリンデンとエルドラドの青少年



リンデン



エルドラド



▲片品村での最後の夜。各国の出し物でキャンプファイヤーも最高潮に



ここの日々をともに過ごした友を私たちはずっと忘れない

燃え盛る炎を囲み、思いは一つに

言葉は通じなくても、気持ちを通じたいつしか笑顔が広がっていた

スポーツや文化交流を通じて、徐々にお互いの距離を縮めていく

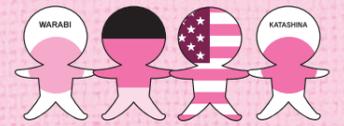
大人びて見えた海外青少年ははじめは緊張して何も話せなかった

スポーツや文化交流を通じて、徐々に

お互いの距離を縮めていく

特集：国境を越えた友情

~2012 Warabi International Youth Camp In Katashina~



アメリカ・エルドラド郡 蕨市 片品村 ドイツ・リンデン市

大自然で育まれた絆

国際青少年キャンプin片品



▲キャンプ2日目。国の特別天然記念物やラムサール条約に指定・登録されている尾瀬を散策。尾瀬高生に高山植物などについて教えてもらいながら、雄大な自然を満喫しました



10回目を迎えた「わらび国際青少年キャンプ」は、姉妹都市のアメリカ・エルドラド郡、友好都市のドイツ・リンデン市の青少年をお招きして蕨市とふれあい交流協定並びに災害時相互応援協定を結んでいる群馬県片品村で、開催されました。

蕨市からは13歳から17歳までの青少年19人が参加。文化や習慣が異なる総勢47人の青少年が、お互いを理解しようとして心を通わせた3泊4日のキャンプは、ホテル観賞や尾瀬散策、更にはキャンプに参加した片品村の尾瀬高校の皆さんの協力の下、同校でのネイチャークラフト体験など、蕨では決して味わうことのできない自然を満喫。また、同村で開催された全国名水サミットに参加するなど、交流だけでなく、自然環境についても学ぶ有意義なものとなりました。

言葉の壁を乗り越え、大自然と触れ合い、日焼けした青少年たちの、すがすがしい表情にじみ出るのは、キャンプで結ばれた確固たる友情と充実感。このかけがえのない思い出は、未来を切り開く上で、大きな力となるでしょう。

中央3丁目にある、ぶらっと



レポート そこが知りたい

〈83〉

あなたの輝きがまちの活性化に コミュニティビジネス講座に参加を

コミュニティビジネスは、行政だけでは対応が困難な地域課題をビジネスの手法を用いて、地域住民が解決を目指す取り組み。今月は、その実例や市の事業など、市民の皆さんの知識や経験が生かせるコミュニティビジネスについて紹介します。

を通じて、世代や地域を越えた交流が深められ、商店街の活性化にも一役買っています。

ぶらっとにおいて、このような成果を上げることができたのは、商店や事業者、行政の協力はもとより、市民の皆さんの力が大きな要因です。

市では、そんな市民の皆さんの知恵や経験を生かし、更に活躍の場が広がられるようにと、昨年

からコミュニティビジネス講座を開催しています。コミュニティビジネスとは、行政だけでは対応が困難な福祉や環境などの

地域課題をビジネスの手法を用いて、地域住民が解決を目指す取り組みのことです。なお、昨年の受講生のなかには、ぶらっとに出店し、その後、飲食店を開業した人もいます。

講座のテーマは「食」サポート体制も充実

今年の講座は、ぶらっとで生まれたにぎわいを活用し、より起業を促そうと、テーマを「食」に絞りました。内容は、グループ討議や事業計画書の作成などの講座に加え、シンポジウムも開催します(左表参照)。講座終了後には、ぶらっとに出店

して、材料の仕込みや客の流れをつかむという経験が積めることに加え、講師による個別相談も行われ、フォローが充実しています。

また、将来、市内で開業する際に利用できる補助金制度もあります。これは、まち連と市が連携して行っている空き店舗有効活用事業補助金制度で、まち連認定の空き店舗に

とき	内容
10月9日(火)	シンポジウム=市民の力で蕨を元気にするコミュニティビジネス
10月23日(火)	講座=「食」のコミュニティビジネスを学ぶ 事業開始のノウハウ、各地の事例から学ぶ
30日(火)	プラン作成のグループ討議
11月6日(火)	ワンデイシェフレストラン ぶらっとで見学&勉強会
20日(火)	事業計画書の作成

いずれも午後6時半～8時半 旭町公民館
講師=永沢映さん 30人 費用=1,000円
申し込み=3日～10月1日に電話、ファクシミリ、Eメールで商工生活室(☎433・7750 ㊟433・7490 Eメールshouko@city.warabi.saitama.jp)

市民が活性化の担い手に

コミュニティビジネスは、市民がまちの課題に取り組みつつ、自己実現もかなえられる可能性があります。方向性が同じ受講生が刺激し合うことで行動も起こしやすいのでは。チャレンジ精神を持つ人、お待ちしております。



ながさわ えいさん
NPO法人コミュニティビジネスサポートセンター代表理事

出店すると、改装費や広告宣伝費などの一部補助が受けられるものです。このように、講座での知識習得から、ぶらっとでの実践、開業に要する経費の補助まで連動したサポート体制を取っています。なお、講座は幅広い市民の皆さんが参加しやすいようにと、平日の夜、蕨駅から近い旭町公民館で行います。これを機に、起業に踏み出した人や新たに地域活動に関わってみたい人、そして、蕨のまちを盛り上げていきたい人などの申し込みをお待ちしています。

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

(仲間にありませんか)

- ▼新舞会(新舞踊) 金曜日 午後1時 南公民館 幼児以上(森田・☎442・8487)
- ▼楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4500円(浦島・☎224・5915)
- ▼蕨市南剣道クラブ 火曜日 午後6時半 土曜日 午後6時 南小学校 月2000円(未就学児は500円) 年長(小学生)沼野井・☎442・1787
- ▼南団基クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料(井上・☎442・0259)
- ▼わらびシニアパソコンクラブ 23期生募集 10月開講 第1・3水曜日 午前10時 中央小学校隣・旧加藤文具2階 月2000円 パソコン持参(額賀・☎432・5217)
- ▼蕨北町サッカースポーツ少年団 土・日曜日 祝日 北小学校 月1500円(2000円) (未就学児は年間1000円) 年中(小学生)小泉・☎090・4948・5936
- ▼英会話ハッピークラブ 金曜日 午後1時半 中央公民館 月6000円 アメリカ人講師による指導(嶋田・☎431・7569)



ビジェガス ドミンゲス
ラファエル マルティンさん

この
まちに
暮らして

ま・ち・の・話・題

「勝っちゃってごめん」と、おちやめに話すマルティンさんは、ロンドン五輪で日本男子サッカーに勝利したメキシコの出陣です。13年前に来日し、蕨には6年前に越してきた。近所の塚越稲荷神社がお気に入りの場所

で、朱色の鳥居が連なる美しい光景に心がひかれ、お参りするのが日課になったとか。そんなマルティンさんが心待ちにしているのが、毎年参加している宿場まつり。今年

7月31日、歴史民俗資料館で開かれた体験講座で、小学生20人が標本作りに挑戦しました。標本にするのは、インドネシア産のアトラスオオカブトとオオヒラタクワガタ。堅い体への針刺しに苦戦しつつも、大型で強そうな2体の標本の出来に、児童たちは大満足でした。

塚越地区では、毎年、平和事業の一環として、地域の皆さんによる、市民公園での清掃活動が行われています。今年8月4日に実施され、参加した45人は公園内の平和之母子像や噴水などを清掃。きれいになった母子像を見上げ、それぞれ平和への思いを新たにしました。

8月3日から6日まで、蕨の夏を飾る「第62回機まつり」が蕨駅西口駅前通りを主会場に開催され、25万人が趣向を凝らした七夕飾りを楽しみました。手踊りやステージでの歌やダンスが祭りを盛り上げたほか、今年、宮城・長崎県などの物産販売も実施され、大盛況でした。

カブトムシの標本作り



平和を願い母子像清掃



「機まつり」盛大に開催



まちぐるみで防災演習



塗装を通じて地域貢献



この数な～に 102人

ふだんは自らの仕事を持ちながら、災害時には現場へ駆けつけ、消火や救助活動に当たる消防団員。現在、6つの分団に102人の団員が定期的な訓練や啓発活動などに励み、万々に備えています。先月19日の総合防災演習でも、一糸乱れぬ動きでポンプ車操法や一斉放水訓練を披露していました。地域防災を支える皆さんの共通の思いは、「自分たちの地域は自分たちで守る」です。このような活動に興味がある18歳から54歳までの人は、ぜひご参加ください。詳細＝消防本部(☎441・0119)

防災意識を高めようと、8月19日、第一中学校で「総合防災演習」が開かれました。訓練は、初期消火や消防団一斉放水のほか、今年新たに市民参加による水バケツリレーなども行われ、参加した約1200人は、地域の支え合いのたいせつさや災害への備えを再確認しました。

塗装業協会からの皆さんによる、公共施設の塗り替えをするボランティア活動が8月25日、北小学校で行われました。11回目の今回は地域の人も加わり、職人の皆さんも参加した児童たちにも優しく指導。45人が協力し合い、校舎内は見違えるほど明るくなりました。

- ▼大極拳圓松会 月曜日 午前9時半 文化ホールくるる 月2000円 石井・☎080・1353・7936
- ▼3B体操 月3回水曜日 午前10時 東公民館 月1500円 鈴木・☎425213
- ▼蕨中東カンフークラブ 火曜日 午後5時 市民体育館 月3000円 5歳～中学生 初心者歓迎 長塚・☎090・5754・8925
- ▼ラメール体操 金曜日 午前9時半 北町公民館 月1000円 村上・☎437252
- ▼児童合唱団「野うさぎ」 土曜日 午後4時 南公民館 月3500円 幼児～中学生 近藤・☎080・5375・5659
- ▼(参加しませんが) 日帰り倶楽部 11月10日 東京レトロ商店街ぶらり旅 戸越銀座・武蔵小山巡り 品川まち歩き 1000円 岩本・☎090・3431・4295
- ▼ダンスパーティー 6日・22日・27日 午後1時 文化ホールくるる 499円 犬塚・☎417373
- ▼イキイキ健康講座「介護保険を使わないで元気に暮らす秘訣とは」 16日 午前10時 市民会館 2000円 平田・☎441・2222
- ▼(ご相談ください) 蕨断酒会(酒害相談) 4日・12日 中央公民館 20日 旭町公民館 午後7時 岡田・☎413172

ポリオの予防接種が 今月から 不活化ワクチンへと変更

生後3か月から7歳半までのお子さんが対象となるポリオの予防接種。生ワクチンを飲んで接種していた方法が、9月からウイルスを殺した、不活化ワクチンを注射で接種する方法に変更となります。今月はその主な変更点について、ご紹介します。



接種スケジュールは対象者に届く通知文書でご確認を(写真はイメージ)

親と子の ニュースの 小窓

不活化ワクチンは注射による予防接種

ワラビ あっ、隣のA子さんと赤ちゃんだ。こんにちは。保健センターになにか用事があるの？

A子さん ポリオの予防接種が変更になると通知が届いたので、詳しい話を聞きに来たのよ。

ワラビ ポリオ？

お母さん ウイルスが人から人へうつる感染症のこと。発症すると、手や足にまひが残ってしまう病気なのよ。ワラビも接種したわ。

ワラビ そうなんだ。じやう、いっしょに話を聞いてみようよ。保健師さん、こんにちは。

保健師 こんにちは。ポリオの予防は、今までウ

イルスを弱めて作った、生ワクチンを飲んで接種していました。今からはウイルスを殺した、不活化ワクチンを注射で接種するようになります。

ワラビ ワクチンとその接種方法も変わったんだ。

A子さん 生ワクチンの接種で、ごくまれにポリオと同様の症状が出ることもあるって聞いたわ。

保健師 はい。生ワクチンは、体に強い免疫が出来る一方、そのような症状が出ることもありまし

た。その点、不活化ワクチンは免疫を作るのに必要な成分だけを取り出し、病原性をなくしたもので心配はいりません。

未接種の乳幼児は医療機関で4回接種

お母さん 生ワクチンは、保健センターで2回接種したけど、不活化ワクチンはどうなのかしら？

保健師 不活化ワクチンの接種は、生後3か月から12か月までに3回。その後、追加接種が1回の、

計4回必要です(下囲み参照)。また、蕨・戸田市内の医療機関での個別接種になるんですよ。

A子さん この子は、以前に生ワクチンを1回接種しているわ。

保健師 そうすると、不

活化ワクチンの接種が3回必要になりますね。

お母さん そういえば、不活化ワクチンと3種混合(ジフテリア、破傷風、百日せき)ワクチンが一つになった4種混合ワクチンも近いうちに導入されるって聞いたけど。

保健師 はい。11月から導入される予定です。

ワラビ 注射は痛いから、いっぺんに打てるように

なるまで待てばいいんだ。

保健師 たしかに11月まで待つと、接種回数が減るケースの子もいるけど、乳児が百日せきにかかるのと重症化することがあります。生後3か月を過ぎたら、早めに3種混合の予防接種をしてください。

ワラビ そっか。予防はたいせつだもんね。

問い合わせ〓保健センター(☎431・5590)

不活化ワクチン接種方法・接種可能な市内医療機関

ポリオワクチンを まだ1回も 受けていない	生ポリオワクチンを すでに1回 受けている	生ポリオワクチンを すでに2回 受けている
不活化ワクチンを 合計4回 受けてください	不活化ワクチンを あと3回 受けてください	不活化ワクチンは 必要ありません

医療機関名	地区	電話
蕨市立病院	北町	432・2277
金井塚医院	北町	431・5245
藤村医院	北町	431・2320
菊地医院	北町	442・5745
田代内科	錦町	447・6222
飯野医院	錦町	443・5238
ワラビ1	錦町	431・1800
こどもクリニック	中央	431・2739
やますげ医院	中央	431・2411
みなと医院	中央	431・2411
斎藤クリニック	中央	445・5311
前島クリニック	中央	431・2574
中村医院	中央	445・5450
金子医院	中央	431・2207
飯田クリニック	南町	441・2730
三和町診療所	南町	441・2701
今井病院	南町	441・0750
腰野医院	塚越	441・4591



ほっと・エッセイ 53

静岡県湖西市と 災害時相互応援協定を締結 市長 頼高英雄

災害に強いまちづくりの一環として、この度、**湖西市**と**静岡県湖西市**との間で災害時の相互応援協定を締結することになりました。湖西市では、平成8年に群馬県片品村とふれあい交流協定並びに災害時相互応援協定を締結し、交流を継続していますが、

定を検討してきました。湖西市は、静岡県西部に位置し、人口は約6万2000人と湖と同程度であり、被害想定地震が湖と異なるため、同時に被災する可能性は低く、距離は約300キロで職員の派遣なども可能です。

また、まちの特徴として、湖西市は、面積が86.65平方キロメートル、浜名湖や海、山に囲まれた自然豊かなまちであり、対照的ですが、東海道の宿場町として、織物で栄えたまちであるなど、湖との共通点もあります。

今後は、災害時の協力はもとより、文化交流や青少年の交流など、より充実した関係を深めていければと考えています。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は13日に変更となりました。10月は4日です。時間は午後1時～5時を予定。ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へ



遊び広げる大型ハンモック 子どもクラブ プレーパーク

タイヤプールやロープ遊びなどを動かして発想力や成長力を育むプレーパーク。毎月第2土曜日、錦町のちびっこ広場で開かれる遊び場に、15メートル×3メートルの大型ハンモックが登場しました。この遊具は、プレーパークを運営する「どろんこの王様」の皆さんや、参加した子どもたちが、1年以上かけて作り上げた物です。ハンモックの上で、「もつと揺られて〜」、「ここで寝ると気持ちいいだろ〜」と、無邪気に笑う子どもたち。その澄んだ瞳には、想像力豊かな楽しい世界が映し出されていることでしょう。



わが家のアイドル

ゆうま 雄馬ちゃん (2歳3か月)

とよだ けんいち 豊田 賢一さん
ゆきこ 由希子さんの長男
錦町1丁目 -485-

「お出かけしたいとき、ちゃっかりベビーカーに乗って、うれしそうに私の支度を待っている雄馬。電車が大好きで、線路の近くまでよくお散歩に行きます。『ガタンゴトン』と電車が通る度、音に合わせてはしゃいでいます。

最近では思いやりの気持ちが芽生えてきたようで、児童館で自分より小さい子が寝ていると、『ねんね〜』と言って、そっと頭をなでてあげるんです。そんな雄馬の姿に、思わず頬が緩んでしまいました」と母親の由希子さん。

え

かるた DE アンチエイジング



湖西市立病院 柴田 優子 医師

AGEs (えいじす)
糖が体内で代謝されて生成されるのが、蛋白糖化反応最終生成物 (AGEs) です。「糖化ストレス」と称し、老化促進の危険

因子として近年、脚光を浴びています。

AGEsは、体の組織に沈着し、動脈硬化や骨折、皮膚のしわ形成など、生活習慣病だけでなく、多くの加齢関連疾患に関与。予防は、食生活の改善で、血糖や悪いコレステロールを急激に上げ過ぎないこと。ポイントには、①よくかんでゆっくり食べる ②食べる順番は野菜から ③低GI食品を選ぶ ④1日3食 ⑤緑茶・カモミールティーを飲むです。

※食品に含まれる糖質の吸収度合いを示す数値

FIFA公認・U-12国際サッカー大会出場

輝いています

ひと

岸本 駿朔 さん



本大会でもヘディングでゴールを

熱いまなざしで世界へ挑む

今

月7日からポーランドで開催される国際サッカー大会ダノンネーションズカップ2012。その国内大会で優勝を果たし、日本代表として世界の舞台へと挑戦するのは、「レジスタFC」所属の岸本駿朔さん（塚越小学校6年生・塚越7丁目）です。周りの選手よりも頭一つ飛び抜けた身長160センチと恵まれた体格を生かしたヘディングと、鉄壁の守備で相手の攻撃の芽を摘み取り、ダイナミックにピッチを躍動する岸本さんは「エースキラー」の異名を持つ、チームの守備の要。今大会でも、最終ラインからチームを牽引しつつ、豪快なヘディングシュートで1試合

に4得点を記録するなど、攻守両面で勝利に貢献。大会の優秀選手にも輝きました。

岸本さんがサッカーを始めたのは5歳の頃。地元ของทีมに入り、夢中になってボールを追いかけるなかで、サッカーに熱中していききました。更に高いレベルを求めて、八潮市にあるレジスタFCに入ったのは5年生のときです。はじめは厳しい練習についていくのが精いっぱいでしたが、「サッカーが大好きだから」との一心で奮起。朝6時からのランニングで体力作りに取り組んだり、独自のドリブル練習で足元の技術を磨いたり、日々の練習で仲間と切磋琢磨しながら、地道な努力を重ねてきました。こうして、200人ほどの選手のなかからレギュラーの座を勝ち取り、今では不動のセンターバックとしてチームを支えます。世界40か国のサッカー少年たちが頂点を目指す本大会でも、「相手のエースを止めて、ヘディングシュートでゴールを狙いたい」と、意気込む岸本さん。目指すはもちろん優勝です。「将来はイタリアのビッグクラブでプレーしたい」と話す、その視線の先は、既に世界の舞台を見据えています。

中仙道蔵宿

400周年

マスコットキャラクター

No.5



市のマスコットといえば、ワラビーですが、中仙道蔵宿のマスコットといえば「わらじろう」。どちらも平成元年、市制施行30周年を記念して、産声をあげた愛らしいキャラクターです。

菅笠にかっぱをはおり、中山道を往来する旅人をイメージしたわらじろうの誕生には、こんなエピソードがあります。人情味あふれる蔵宿にぴったりの、いたずらっぽく愛らしいキャラクターにしたいと、蔵宿の皆さんで、アイデアを絞った当初の案は、旅ガラスをモチーフにしたものでした。でも、「カラスなど縁起が悪い」と、当時の長老たちから却下され、対案として出されたのが、平和の象徴であるハト。ウインクをしたわらじろうが誕生したのです。

名前のわらじろうは、地名である蔵はもちろん、街道を行き来する上で欠かせない草鞋にも引っかけたという、粋なネーミング。こうして誕生以来、宿場を盛り上げるマスコットとして、親しまれています。

蔵宿を散策したことがある人は、お気づきでしょうか。同地区限定で、マンホールの蓋が、わらじろう仕様になっていることを。他にも、住宅の雨水桝にわらじろうがデザインされており、蔵宿の魅力アップに一役買っています。

そんなわらじろうが、開設40年の今年、より親しみやすいご当地キャラとして、新たに着ぐるみ姿で登場します。お披露目は11月3日の宿場まつり。節目の年のお祭り、中山道を練り歩くわらじろうに会いに来ませんか。